

## 第9回日本スポーツグランプリ 受賞者(功績)

### 顕彰区分1 当該スポーツを長年にわたり実践している個人またはグループ

1.	アマノケンイチ 天野 憲一	92歳(男性)	北海道	サッカー	活動歴: 71年
旧制中学校時代からサッカーを始めて以来、71年間の長きにわたり現役でプレーを続けている。札幌市内のサッカースポーツ少年団の普及・育成に尽力し、自らも社会人サッカークラブ「札幌蹴球団」、「札幌四十雀サッカークラブ」等で活躍した。シニア部門においても、OB大会運営の中心的な役割を担うとともに選手としても活躍し、ねんりんピックふくおか2005においては最高齢者賞を受賞。92歳となる現在も生涯現役ゴールキーパーとして元気に活動をしている。					
2.	イダミル 飯田 稔	85歳(男性)	東京都	馬術	活動歴: 68年
学生時代から馬術部に所属し、昭和23年第3回国民体育大会(福岡県)等に出場した。東京都民体育大会には平成9年から17年間連続、関東学生馬術連盟OB戦には昭和24年から65年間連続で出場するなど数多くの大会出場実績を持つ。現在も大学OB会に所属し、現役選手として活躍している。さらに、昭和60年から平成10年までは日本獣医畜産大学(現・日本獣医生命科学大学)馬術部監督として、後進の育成・指導にも尽力している。					
3.	モリセイケイ 森 成蹊	83歳(男性)	奈良県	テニス	活動歴: 78年
5歳の時にテニスと出会い、以降78年間親しむ中で、奈良県代表選手として国民体育大会近畿ブロック大会にも出場してきた。60歳を過ぎた平成6年からは全日本ベテランテニス選手権大会に参加し始め、20年間にシングルス9回優勝、ダブルス9回優勝の他、関西ベテランテニス選手権大会で複数回優勝、世界ベテランテニス選手権でも入賞を果たす等の輝かしい戦績を残している。83歳になる今もコート上で向上を目指す姿勢は他のプレーヤーの模範となっている。					
4.	クサカベチヨオ 日下部 千代男	88歳(男性)	山口県	卓球	活動歴: 74年
15歳の時、就職と同時に卓球と出会い競技を始めた。競技生活に支障を来たす大きな怪我を負ったにも関わらず、大好きな卓球を続けたいという思いから競技を続け、会社の卓球部選手として活躍した。全日本卓球選手権大会(マスターズの部)、世界ベテラン卓球選手権等国内外の大会への多数の参加実績がある。88歳の現在も全日本卓球選手権大会(マスターズの部)ハイエイティの部ベスト4を目指し、現役プレーヤーとしてほぼ毎日自転車ですべての練習に励む姿は卓球仲間の模範となっている。					
5.	ヤマダツネオ 山田 常男	80歳(男性)	福岡県	ラグビーフットボール	活動歴: 66年
中学校時代にラグビーフットボールを始め、高校で全国高等学校ラグビー大会、大学で関東大学ラグビー対抗戦の出場実績を持ち、社会人になってからも競技を続けた。昭和48年以降は地元クラブに所属し、ねんりんピック、シニアラグビーの国際大会等数々の大会に出場している。また、2012ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル福岡ではホスト国代表として選手宣誓を務める等チームの中心的存在であり、80歳となった現在も現役ラグーマンとして活躍を続けている。					
6.	クラツミドリ 倉津 緑	75歳(女性)	長崎県	陸上競技	活動歴: 60年
15歳から本格的に陸上競技を始め、60年にわたり実践し続け、国内外を問わず多数のマスターズ大会に出場してきた。中でも、第6回アジアベテランズ陸上競技選手権大会では50歳から54歳の部走り高跳び優勝(当時アジア記録)、第11回全日本マスターズ陸上競技選手権大会では50歳から54歳の部三段跳び優勝(当時世界記録)等、数々の輝かしい記録を樹立している。現在もさらなる記録の向上をめざし日々研鑽に努める姿勢は県内中高年齢層の女性スポーツ実践の模範となっている。					

7.	スズキ エツコ 鈴木 悦子	90歳(女性)	茨城県	ゴルフ等	活動歴: 80年
<p>小学校時代から陸上競技、バスケットボールをはじめ多くの競技に親しんできた。50歳からゴルフ、84歳からボウリングを始め、現在も毎週のようにプレーしている。また、つくばヘルスフィットネス教室に通い、筋力運動、ウォーキング等有酸素運動にはつらつと取り組み、81歳時の活力年齢は71歳であった。90歳となった現在も日々鍛錬を欠かさず、大いに生涯スポーツを楽しんでいる。</p>					

### 顕彰区分2 当該年齢層において世界記録等を樹立した個人またはグループ

・	ヨネザワ ショウコ 米沢 祥子	79歳(女性)	神奈川県	水泳	活動歴: 51年
<p>高校時代に全国高等学校総合体育大会、国民体育大会等への出場経験を持つ。50歳の時にマスターズ水泳に出会い65歳の部100m平泳ぎでの世界新記録樹立を皮切りに、平泳ぎ、背泳ぎ、個人メドレー、リレー等において、平成25年までに延べ104個の世界記録更新を達成し、現在でも17個の世界記録、33個の日本記録を保持している。国内外のマスターズ水泳界において高い評価を得ており、その姿は老若男女問わず生涯スポーツを実践している者の手本となっている。</p>					

### 顕彰区分3 当該スポーツにおいて顕著な実績を挙げた個人またはグループ

・	ミヤザキ ヒデキチ 宮崎 秀吉	104歳(男性)	京都府	陸上競技	活動歴: 82年
<p>少年時代から走ることに夢中になり、小学校教師時代は地域の大会で活躍。病気療養から復帰後は体力づくりのため時間があればジョギングに励み、平成16年から数々の大会に出場している。平成22年には100歳から104歳の部100mで世界新記録を樹立した。さらに、平成26年1月、103歳と15日で世界最高齢の陸上競技選手としてギネス世界記録認定という偉業を達成する。その姿はまさにマスターズ陸上界の英雄であり、M105クラスでのマスターズ大会への出場も間近となり更なる期待が膨らむ。</p>					

注) 年齢:平成26年10月12日時点